

## 令和2年度新入職員32名を迎える ～ 「明日を切り拓く」 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、4月1日（水）、令和2年度新入職員32名を迎えました。

本年度は拡大する新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、3班に分けて発令を行い、高橋理事長が新入職員32名（男性12名、女性20名）に採用辞令を手渡し、次の言葉を贈りました。

### ■新入職員に贈る言葉

#### 「明日を切り拓く」

米中貿易摩擦、中国経済の減速など、不透明感が高まる中、新型コロナウイルスの感染拡大で世界経済は大きく失速しつつある。みなさんにとってはより緊張感が高まる中で社会人生活がスタートした。

諸環境が激変し、従来の価値観やルールが通用しないケースも出てきた。このような時こそ「艱難汝を玉にす」の諺どおり、苦難や困難を乗り越える努力を怠らず自分自身を成長させ、明日を切り拓いてほしい。

さらにこのような厳しい時であるからこそ、人生そして日々の仕事の中に「志」をもって業務に取り組んでいただきたい。

社会人となり責任感も高まるが、その責任を全うするには「信念」ある行動が求められる。「信念」とは「志」を実現するための自らの行動規範である。

入庫にあたり「自分の力で明日を切り拓く」「人生に志をもつ」そして「行動に信念をもつ」。この3点を皆さんへの贈る言葉とし、社会人生活の第一歩を踏み出していただきたい。

入庫を歓迎するとともに皆さんの躍動感あふれる若い力に大いに期待する。

大阪シティ信用金庫  
理事長 高橋 知史



高橋理事長（左）から発令を受ける新入職員

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

